

小4

◆海とともにあるくらし◆

上巻19回

氏名

得点

各10点
170点

1	日本で海岸線が長いのは北海道と、島が多く出入りの複雑な海岸線を持つ（ ）県である。		
2	千葉県にある、日本でも有数の砂浜海岸は（ ）である。		
3	問2の海岸では（①）あみを使って、（②）という魚を取っていた。	①	②
4	東北地方の太平洋側には、青森から岩手、宮城まで岩や石でできた自然海岸が続いている。この海岸を（ ）という。		
5	問4のような、むかし谷だったところに海水が入りこんでできた、複雑に入りこんだ海岸を（ ）という。		
6	コンクリートで固めるなどして、つくられた海岸を（ ）という。港や工場がつくられ、海岸線が直線になる場合が多い海岸である。		
7	東北地方の太平洋側には、寒流の（①）海流と暖流の（②）海流が流れている。	①	②
8	暖流と寒流がぶつかり合うため、良い漁場となるとところを（ ）という。		
9	海底地震などが原因となって、急に高い波が海岸に押しよせることを（ ）という。		
10	高い波を防ぐために、海岸に植えられた木々を（ ）林といい、海岸に造られた堤防を（ ）堤という。←（ ）内には同じ語が入る。		
11	さまざまな生きものが住む、潮の引いた砂地の浜辺を（ ）という。		
12	ある区切られた場所で魚や貝を育ててとる漁業を（ ）という。		

13	陸地のまわりに広がる水深200メートルぐらいまでの海を（ ）という。プランクトンが豊富で、海藻 <small>かいそう</small> などが育ちやすく、魚もとれる。	
14	下の地図の①の海で、世界最大の海を（ ）という。	
15	下の地図の②の海で、冬に流氷が押し寄せる海を（ ）という。	
16	下の地図の③の海で、朝鮮半島やロシアとの間に広がる海を（ ）という。	
17	下の地図の④の海で、中国の東に位置し、水深200メートルぐらいの海底が広がる海を（ ）という。	



小4

◆海とともにあるくらし◆

上巻19回

氏名

満点とれ太

得点

各10点
170点

1	日本で海岸線が長いのは北海道と、島が多く出入りの複雑な海岸線を持つ（ ）県である。	ながさき 長崎	
2	千葉県にある、日本でも有数の砂浜海岸は（ ）である。	くじゅうくりはま 九十九里浜	
3	問2の海岸では(①)あみを使って、(②)という魚を取っていた。	じび ①地引き	②イワシ
4	東北地方の太平洋側には、青森から岩手、宮城まで岩や石でできた自然海岸が続いている。この海岸を（ ）という。	さんりくかいがん 三陸海岸	
5	問4のような、むかし谷だったところに海水が入りこんでできた、複雑に入りこんだ海岸を（ ）という。	かいがん リアス海岸	
6	コンクリートで固めるなどして、つくられた海岸を（ ）という。港や工場がつくられ、海岸線が直線になる場合が多い海岸である。	じんこうかいがん 人工海岸	
7	東北地方の太平洋側には、寒流の(①)海流と暖流の(②)海流が流れている。	ちしま ①千島	にほん ②日本
8	暖流と寒流がぶつかり合うため、良い漁場となるところを（ ）という。	しおめ しおざかい 潮目（潮境）	
9	海底地震などが原因となって、急に高い波が海岸に押しよせることを（ ）という。	つなみ 津波	
10	高い波を防ぐために、海岸に植えられた木々を（ ）林といい、海岸に造られた堤防を（ ）堤という。←（ ）内には同じ語が入る。	ぼうちょう 防潮	
11	さまざまな生きものが住む、潮の引いた砂地の浜辺を（ ）という。	ひがた 干潟	
12	ある区切られた場所で魚や貝を育ててとる漁業を（ ）という。	ようしよく 養殖	

13	陸地のまわりに広がる水深200メートルぐらいまでの海を（ ）という。プランクトンが豊富で、海藻 <small>かいそう</small> などが育ちやすく、魚もとれる。	たいりくだな 大陸棚
14	下の地図の①の海で、世界最大の海を（ ）という。	たいへいよう 太平洋
15	下の地図の②の海で、冬に流氷が押し寄せる海を（ ）という。	オホーツク <small>かい</small> 海
16	下の地図の③の海で、朝鮮半島やロシアとの間に広がる海を（ ）という。	にほん <small>かい</small> 日本海
17	下の地図の④の海で、中国の東に位置し、水深200メートルぐらいの海底が広がる海を（ ）という。	ひがし <small>かい</small> 東シナ海

